

みずほCustomer Desk Report 2017/06/20 号(As of 2017/06/19)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.98	1.1204	124.35	0.9733	1.2774	0.7619
SYD-NY High	111.60	1.1215	124.50	0.9759	1.2814	0.7629
SYD-NY Low	110.80	1.1143	124.15	0.9696	1.2723	0.7585
NY 5:00 PM	111.52	1.1149	124.34	0.9756	1.2738	0.7598
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.375/7.775		Δ25RR	0.635	Yen Call Over	
NY DOW	21,528.99	144.71	債券市場	日本2年債	-0.1050	0.9bp
NASDAQ	6,239.01	87.26		日本10年債	0.0550	▲0.1bp
S&P	2,453.46	20.31		米国2年債	1.3560	4.1bp
日経平均	20,067.75	124.49		米国5年債	1.7880	4.5bp
TOPIX	1,606.07	10.03		米国10年債	2.1879	3.6bp
シカゴ日経先物	20,165.00	190.00		独10年債	0.2810	0.5bp
ロンドンFT	7,523.81	60.27	為替市況	英10年債	1.0300	1.2bp
DAX	12,888.95	136.22		豪10年債	2.4060	▲0.1bp
ハンセン指数	25,924.55	298.06		USD/CNH	6.8292	0.0166
上海総合	3,144.37	21.21	商品市況	ドルインデックス	97.55	0.38
USDJPY 3M Vol	8.02	▲0.09%		CRB指数	171.283	▲1.77
USDJPY 6M Vol	8.63	▲0.08%		NY金	1,246.70	▲9.80
EURJPY 3M Vol	7.94	▲0.19%		WTI	44.20	▲0.54
EURJPY 6M Vol	8.84	▲0.13%		Dubai Spot	45.97	0.14

東京	朝方発表された本邦5月貿易収支は市場予想に反して赤字となったが、市場への影響は限定的となり東京時間のドル円は110.98レベルでオープン。日経平均株価が堅調推移となったことや仲値にかけてはドル買い優勢の展開となったこと等から東京時間高値となる111.14まで上昇。しかし、111円台では上値の重さが意識されその後は伸び悩んだ。特段の材料ない中、111.00を挟んでのみ合い推移が続き、結局111.07レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は横ばい、111.07レベルでオープン。一時は111.21まで値を上げるも、米長期金利の下落と共にドル円も値を下げ111.06レベルでNYへ渡った。ポンドドルも横ばい、1.2772レベルでオープン。この日よりブリュッセルでEU離脱交渉開始。交渉前に基盤強化を狙い解散総選挙を前倒しするも保守党が過半数議席を失い、メイ政権の存続に疑念が生じているさなか、離脱交渉に対する不透明感から、小幅推移となり1.2790レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリ- 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	海外時間はアジア・欧州株式が堅調となる中、ドル円は111.00付近での底堅い推移となり、111.06レベルでNYオープン。朝方行われたダドリー・NY連銀総裁の講演で「拡大局面がやや長期化しているが、実際のところまだ長く継続すると確信している」との効派な発言を受けて、米金利急騰と共にドル円は海外時間高値111.21を上げ上昇。リスクオフで漂う中、高く寄り付いた米株がITセクターを中心に上げ幅を拡大したことや、米金利が一段と上昇する展開にドル円は高値の111.60まで上昇。米GDP稼働数の増加、北米の増産などを受けてWTI原油が下落したが、ドル円への影響は限定的となり、その後も111.50付近での底堅い推移が続き、111.52レベルでクローズした。なおダウ工業株30種平均、S&P500種は過去最高値を更新した。一方ユーロドルは1.1191レベルでNYオープン。朝方のダドリー・NY連銀総裁の効派な発言を受けて米金利上昇と共にドル買いが強まり、ユーロドルは下落。米金利が一段と上昇したことや、米株が堅調に推移したことからユーロドルは安値1.1143まで下落。その後もユーロドルは上値重い推移が続き、1.1149レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・森谷

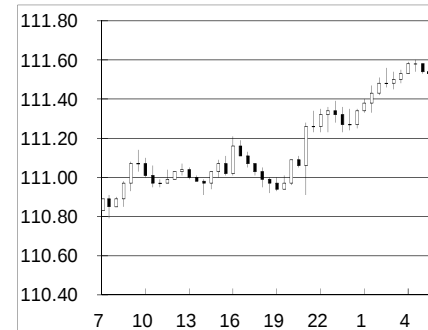
[昨日の指標等]

Date	Time		Event		結果	予想
6月19日	8:50	日	貿易収支	5月	- ¥ 203.4B	¥ 43.3B
	21:00	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-	-

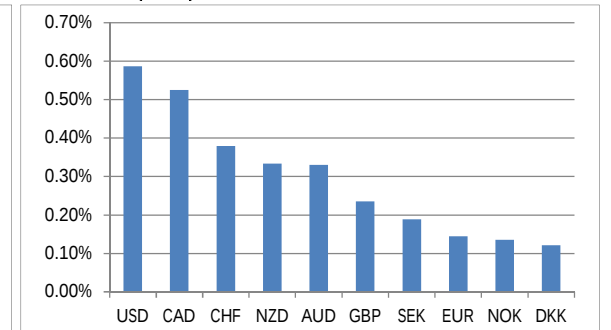
[本日の予定]

Date	Time		Event	予想	前回
6月20日	8:00	米	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	10:30	豪	RBA議事要旨	-	-
	16:15	米	フィッシャー・FRB副議長 講演	-	-
	21:15	米	ローゼン格林・ボストン連銀総裁 講演	-	-
6月21日	4:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-112.50	1.1100-1.1200	124.00-125.00

[マーケット・インプレッション]

昨日海外時間のドル円相場は堅調推移となった。ダドリー・NY連銀総裁のタカ派的な発言を受けて米金利が上昇する中、ドルが強含んだ。本日はドル買い優勢の展開が継続すると予想。欧州でテロ事件が複数発生しているものの、米株が陽線引けしている環境下、現時点でリスクセンチメントが大きく後退する印象は乏しい。一方で、発言が予定されるFEDメンバーから、昨日のダドリー総裁のようなタカ派的なコメントが出ると、米金利がFOMC前の水準を上回り、ドル円は上昇する可能性が高まるだろう。